

議案に対する



議案第3号

自治基本条例の制定

佐藤和夫議員(改革クラブ)

反対

自治基本条例検討市民会議が提言した内容が、訂正、削除されている。市民会議に素案作りをお願いしたのだから、市民会議から提言された内容をそのまま議案として提出すべきである。もう一度、市民会議の委員と議員28名が同じテーブルで、議論する必要があるという強い思いから反対するものである。

大根田悦夫議員(夢ネット21)

反対

自治基本条例検討市民会議が2年にわたり検討し、提言書を提出した。その中で、「住民投票の請求」及び「自治基本条例検証市民会議の設置」に関する条文が削除されている。市民の代表が作成した案に、市がノーを突きつけたと同じことである。市民会議の意見を尊重すべきであると考え反対するものである。

平成26年度予算に

対する討論

柴 惠議員(真政クラブ・公明)

賛成

平成26年度予算について、もおか未来、真政クラブ・公明の2会派を代表して賛成の立場から討論を行う。

平成26年度当初予算は、井田市政5回目の予算編成となったわけであるが、引き続き「だれもがほっと」できるまち真岡」そして「日本一安心なまち」を目指して、第10次市勢発展長期計画に掲げた事業の推進と、選挙公約に基づく施策を着実に実現してきていること、更には市議会での一般質問、会派の建議要望、市長との話し合い事業における市民の要望などにも真摯に耳を傾け、実行に移していることに対して高く評価する。第10次市勢発展長期計画の施策に沿って所見を述べる。「暮らしやすさが実感できるまちづくり」では、地域公共交通総合連携対策事業について、デマン

ドタクシーとコミュニティバスの運行により、公共交通ネットワークの整備が一層進展することを期待する。

「学びと歴史・文化が豊かな心を育むまちづくり」では、スポーツ振興について、市民ひとり1スポーツの定着を目指し、スポーツ・レクリエーション活動の充実に努めている。特に総合運動公園の整備については、防災公園として、国の社会資本整備総合交付金を受けるとともに合併推進債を活用するなど、財源確保に向けた取組みを高く評価する。

「思いやりと安心に満ちたみんな元気なまちづくり」では、保健医療において、子宮頸がん・ヒブ・小児用肺炎球菌ワクチンの予防接種については、全額公費負担により継続実施するとともに、乳幼児と小学児童のインフルエンザ、1歳から就学前の水痘・おたふくかぜ並びに65歳以上高齢者の肺炎球菌ワクチンの予防接種など、任意接種についても一部助成していることを高く評価する。「自然と潤いがある安全快適なまちづくり」では、ごみ対策について、本年4月からの芳賀地区エコステーションの本格稼働に伴

い、家庭用ごみ袋の有料化が開始されることから、更なるごみの減量化に向けた対応をお願いする。

「地域と産業が調和する活力あるまちづくり」では、園芸特産対策において、今回の大雪により、イチゴを中心とした農作物及び農業用施設に甚大な被害が発生したところであるが、井田市長には、被害状況の把握と被災農家の再建支援に、誠心誠意、取り組まれていることを高く評価する。

「市民の知恵と夢で拓くみんなのまちづくり」では、市制施行60周年記念事業について、多くの市民の参加のもと、一年間を通じて各種の記念事業が展開されることを大いに期待する。「効率的で市民にわかりやすいまちづくり」では、行政改革の着実な推進と行政評価システムの活用等により、事業の重点化を図りながら、市民にとってわかりやすく効率的な行政運営に努められていることを高く評価する。事業執行に当たっては事業の必要性、優先性、緊急性などに十分留意しながら、最少の経費で最大の効果を上げるべく全職員が一丸となつて推進されるよう期待する。

飯塚 正議員(日本共産党)

反対

平成26年度予算について反対の立場から討論を行う。

一般会計では、歳入で、個人市民税が負担増となっていること。歳出で、新規の印鑑登録証交付手数料が有料化となったこと、自衛官募集事務をさせていること、子ども医療費の一部負担をさせていること、ごみの有料化が始まること、新規農業者育成等支援の予算が少くないこと、企業立地促進事業費補助金等の予算を計上していること、住宅リフォーム制度を導入しないこと、生活道路整備に遅れがあること、小中学校の施設整備等の予算が少ないことなどに反対である。

特別会計では、国民健康保険・介護保険会計で、それぞれの保険料が高水準に至っていること。後期高齢者医療会計で、医療行政を国の言いなりで進めていること。IC周辺開発事業会計で、第5工業団地の分譲率が約6割にとどまっていること。

公共下水道事業、農業集落排水事業、水道事業会計では、使用料金に消費税を上乗せしていることに反対である。